

令和元年度 基本評価調書

施策名	国際会議等の誘致推進	所管部局	総合政策部	作成責任者	総合政策部長 黒田 敏之	施策コード	02 - 06
		照会先	国際課プロモーションG (内21-210)	関係課	国際課		

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

【総合計画等の位置づけ】

政策体系	大項目(分野)		中項目(政策の柱)		小項目(政策の方向性)		総合計画の指標	
	2	経済・産業	(6)	多彩な地域資源を活かした世界が憧れる観光立国北海道の更なる推進	B	国内外への効果的な誘客活動による旅行市場の拡大	国際会議等の開催状況	
北海道創生総合戦略	A4111		北海道 強靱化計画			知事公約	C0129	
特定分野別計画等	北海道グローバル戦略							

1 目標等の設定

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・道では、H20年7月の北海道洞爺湖サミット開催を契機に、国際会議等誘致の取組を強化してきたところ。 ・近年、本道の国際会議開催件数は増加傾向にあり、G20観光大臣会合の道内開催(R1)も決定したが、更なる開催件数の増加を目指し、関係機関との連携を深めるとともに、国をはじめとした主催者からの情報収集や本道の魅力発信など、より効果的な誘致活動に取り組む必要がある。 	施策目標	<ul style="list-style-type: none"> ・本道の知名度向上や国際化の推進、交流人口の拡大等による地域の活性化を図るため、国及び地域の関係者との連携を強化しながら、引き続き、国際会議等誘致の取組を推進する。
-------	---	------	--

施策の推進体制 (役割・取組等)	政策体系	役割等	政策体系	役割等	施策の予算額	
		2(6)B	[道]国際会議等誘致に積極的な市町村(札幌市など)や各地域のコンベンションビューロー等との連携 [国]「国際会議等の北海道開催の推進に係る各省庁連絡会議」の開催、道や道内各自自治体が行う誘致活動に対する支援(各省庁等から入手した開催情報の提供等)[関係府省:国土交通省]			H29
2(6)B		[道]G20観光大臣会合の成功に向け、倶知安町、関係団体及び国による連携した組織である「G20観光大臣会合実行委員会」をH30に設立し、「開催支援」「気運醸成」「おもてなし」「地域PR」の取組を実施			H30	6,000
					R1	52,000

今年度の取組	政策体系	今年度の取組	政策体系	今年度の取組
	2(6)B	◎ 国が主催する「国際会議等の北海道開催の推進に係る各省庁連絡会議」への出席等を通じて、国との連携強化を図る。 ◎ 道内各市町村・コンベンションビューロー等との連携を強化するとともに、各省庁等を訪問し、国際会議等の開催に係る情報収集を行う。 ◎ 道内経済界等関係団体等と国際会議誘致に係る情報共有を図る。	2(6)B	○G20観光大臣会合の開催支援と関連事業の実施のため、関係自治体などとの連携や調整を図る。

前年度付加意見への対応状況(平成31年3月末時点)

<意見区分： 施策目標の達成状況・事務事業の有効性>

	事務事業整理番号	事務事業名	前年度付加意見	各部局の対応(平成31年3月末時点)
施策 事務事業				

<事務事業評価 意見区分： 前年度評価結果への対応など>

	事務事業整理番号	事務事業名	前年度付加意見	各部局の対応(平成31年3月末時点)
事務事業				

Do & Check 施策評価

1-2 取組の結果

(1) 取組の実績と成果

政策体系	実績と成果等	関連する計画等			備考
		北海道 創生総合戦略	北海道 強靱化計画	知事公約	
2(6)B	平成30年5月、国が主催する「国際会議等の北海道開催の推進に係る各省庁連絡会議」に出席し、各省庁に対して政府系の国際会議等の北海道開催について要請を行うなどした結果、札幌市での日中韓人事行政ネットワークトップ会談の開催が決定した。	A4111		C0129	
2(6)B	平成30年11月、道内市町村・コンベンションビューロー等と連携して、各省庁への訪問を実施し、国際会議等の開催に係る情報収集と道内開催への働きかけを行った結果、旭川市での日・オーストリア委員会等の開催が決定した。	A4111		C0129	
2(6)B	「北海道国際会議等誘致推進会議」関係者との間で、国際会議等に係る要請活動等の情報共有を図った。	A4111		C0129	
2(6)B	G20観光大臣会合について、関係自治体等と連携して国等に要請を行った結果、道内での開催(2019年10月)が決定された。 G20観光大臣会合の成功に向け、官民一体となったオール北海道としての受入体制を確立し、支援・協力を行うとともに、大臣会合の機会を捉えて北海道の魅力国内外に広くアピールすることを目的とする組織として、「G20観光大臣会合実行委員会」を設置。 令和元年5月に開催されたG20観光大臣会合の高級実務者級会合でのおもてなしや北海道の魅力のPRなどを行うとともに、令和元年10月の本会合に向けて取組を進めている。	A4111		C0129	

(2) その他の取組の成果等

国等要望・提案状況	<ul style="list-style-type: none"> 総務省、法務省、財務省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、警察庁に対して、国費要望(G20観光大臣会合の開催に向けた施策の推進:重点要望)を行った(平成30年7月) 	<p>施策に関する道民ニーズ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「北海道MICE誘致推進協議会」などを通じて、構成団体などから、地元での開催を希望する国際会議に係る要望(誘致ニーズ)を把握している。平成30年11月には、札幌市及び旭川市から、同市が誘致を希望する国際会議の所管省庁を訪問したい旨の要望あったため、同市とともに関係省庁を訪問。 平成30年11月、北海道経済連合会から、国際会議の誘致推進に向けた取組の強化とG20観光大臣会合を契機とした北海道の魅力発信について要望があり、経済界等関係者と連携して誘致を促進するとともに、G20観光大臣会合の機会を捉えて北海道の魅力をPR。
-----------	---	--------------------	--

令和元年度 基本評価調書

施策名	国際会議等の誘致推進	施策コード	02 - 06
-----	------------	-------	---------

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
--------------------------------	-----------------

2 連携の状況

2-2 連携の取組状況

(1) 施策間・部局間の連携

(1) 施策間・部局間の連携

政策体系	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
2(6)B	「北海道MICE誘致推進協議会」を通じた経済部との連携により、北海道のコンベンション都市のPR等を実施	0505	経済部観光局	「北海道MICE誘致推進協議会」への参画をはじめ、経済部と連携して国主催会議への出席や省庁訪問を行うなど、効率的に国際会議の誘致を行った。

(2) 地域・民間との連携・協働

2-2 (2) 地域・民間との連携・協働

連携内容	連携先	取組の実績と成果
<p>「北海道MICE誘致推進協議会」との連携により、北海道のコンベンション都市のPR等を実施</p>	<p>「北海道MICE誘致推進協議会」構成団体(札幌、旭川、函館、帯広、釧路、北見、登別)</p>	<p>「北海道MICE誘致推進協議会」への参画をはじめ、構成団体と連携して省庁訪問を行うなど、効率的に国際会議の誘致を行った。</p>
<p>「北海道国際会議等誘致推進会議」との連携により、関係者と国際会議等に係る要請活動の情報共有を図る。</p>	<p>「北海道国際会議等誘致推進会議」構成団体(道市長会、道町村会、道経連、商工会連合会、経済同友会等)</p>	<p>効率的な国際会議の誘致に向け、道内経済界等関係者と国際会議等の誘致に係る要請活動等の情報共有を行った。</p>

令和元年度 基本評価調書

施策名	国際会議等の誘致推進	施策コード	02 - 06
-----	------------	-------	---------

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1) | Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定 (H:平成 R:令和、大文字は年度、小文字は暦年) | 3-2 成果指標の達成度合

主①	指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	h29	達成度合の分析 ほか
		基準年度	h26	年度	r1	最終年度	r7					
	国際会議等の開催件数(暦年)	基準年度	h26	年度	r1	最終年度	r7	達成度合	A	評価年度	h29	「北海道MICE誘致推進協議会」への参画をはじめ、構成団体と連携して省庁訪問を行うなど、効率的な国際会議の誘致を行った効果が表れている。
		基準値	107	目標値	122	最終目標値	140	年度	h29	H30	進捗率	
[指標の説明] 道内で開催された国際会議等の開催件数 (日本政府観光局(JNTO)公表「国際会議統計」による)	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値	116	119	140		
	北海道総合計画		2(6)B	増加	((実績値-基準値)/(目標値-基準値)) × 100		実績値	119	-	119		
						達成率	102.6%	-	85.0%			

● 本施策に成果指標を設定できない理由	● 達成度合について					
	達成度合	A	B	C	D	-
	直近の成果指標の達成率	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	算定不可

令和元年度 基本評価調書

施策名	国際会議等の誘致推進	施策コード	02	—	06
-----	------------	-------	----	---	----

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領別紙様式1)

4 事務事業の設定

整理番号	政策体系	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの 繰越事業 費(千円)	令和元年度					フル コスト (千円)
						事業費 (千円)	うち 一般財源	執行体制			
								本庁	出先機関	人工計	
1007	2(6)B	国際会議誘致事務	国際会議の情報収集・分析や、誘致要請・プロモーション活動のほか、会議開催支援、関係機関との連絡調整に係る事務	国際課		0	0	0.3	0.1	0.4	3,188
1008	2(6)B	G20観光大会会場推進事業	G20観光大臣会合の開催に伴う実行委員会への負担金(実行委員会実施事項、開催支援、おもてなし、地域PR)	国際課		52,000	52,000	11.0	0.0	11.0	139,670
計						0	52,000	52,000	11.3	0.1	11.4

令和元年度 基本評価調書

施策名	国際会議等の誘致推進	施策コード	02 - 06
-----	------------	-------	---------

Do & Check 施策評価 一次政策評価結果(各部局等による評価)

5 一次政策評価結果と翌年度に向けた対応方針等

(1)成果指標の分析

政策体系	達成度合の集計					判定	成果指標の分析
	A 100%以上	B 90%以上 100%未満	C 80%以上 90%未満	D 80%未満	- 算定不可		
2(6)B	1					A・B指標のみ	<国際会議等の開催状況(暦年)[A]> 「北海道MICE誘致推進協議会」への参画をはじめ、構成団体と連携して省庁訪問を行うなど、効率的に国際会議の誘致を行った効果が表れている。
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
計	1	0	0	0	0	A・B指標のみ	

(2)取組の分析

基準1 (施策の推進に当たり対応すべきもの)		対応している (○あり→対応している)	対応しているとする理由
1	計画した取組を着実に進め、かつ社会情勢や道民の要請等を踏まえた課題等に対応しているか	○	本道の知名度向上や国際化の推進、交流人口の拡大等による地域の活性化を図るため、国および地域の関係者との連携を強化しながら、国際会議等の誘致の取組を推進している。
基準2～4 (施策の推進に当たり取組が認められる)		取組がある (○あり→取組がある)	取組があるとする理由
2	施策の推進に当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか	○	国が主催する「国際会議等の北海道開催の推進に係る各省庁連絡会議」に出席し、各省庁に対して政府系の国際会議等の北海道開催について要請を行った結果、国際会議等が道内で開催されている。また、G20観光大臣会合の道内開催が決定された。
3	道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立っているか	○	市町村への情報提供等を通じて、国際会議誘致に係るニーズを把握している。
4	施策の推進に当たり、他の施策・部局との連携による成果を確認できるか	○	経済部観光局と連携して、各省庁への訪問を実施した結果、道内に国際会議を誘致することができた。
	施策の推進に当たり、地域・民間との連携・協働による成果を確認できるか	○	道内市町村・コンベンションビューローと連携して、各省庁への訪問を実施した結果、道内に国際会議を誘致することができた。
判 定 (基準1が「○」で、かつ基準2～4のうち1つ以上に「○」がある→a、それ以外→b)			a

(3)総合評価と対応方針等

成果指標の分析		取組の分析	総合評価					
判定(計)		判定	概ね順調に展開					
A・B指標のみ		a						
対応方針			関連する事務事業			関連する計画等		
対応方針番号	政策体系	内容	方向性	事務事業整理番号	事務事業名	北海道創生総合戦略	北海道強靱化計画	知事公約
①	2(6)B	国・市町村・コンベンションビューローと連携しながら、国際会議等の効果的な誘致活動に取り組む。				A41111		C0129

前年度付加意見への対応状況(事務事業)

事務事業整理番号	事務事業名	前年度付加意見	各部署の対応(評価時点)

Action 施策・事務事業評価

7 評価結果の反映

(1) 一次評価結果への対応

対応方針 番号	対応	事務事業
①	<p><新たな取組等> 官民連携により設立した実行委員会が中心となって様々な準備を進め、G20観光大臣会合を開催して、オール北海道で本道の優れた自然環境や安全で良質な食、独自の文化などのPRIに取り組み、各国関係者へ本道の魅力を発信することができたことから、引き続き、関係機関と連携して本道の活性化に向けた誘致活動に取り組む。</p>	

(2) 二次評価結果への対応(付加意見への対応状況)

(3) 事務事業への反映状況

方向性	拡充	改善	縮小	統合	廃止	終了	合計
反映結果							0

次年度新規事業 (予定)
0

整理番号	事務事業名	一次政策評価に おける方向性(再掲)	次年度の方向性 (反映結果)